

Mr. サトーのインド通信

カバディカバディカバディカバディ・・・

朝晩は涼しくなり天高く・・・食欲の秋・・・皆様いかがお過ごしでしょうか？

小生今月は中国です。台風の影響なのかなんなのかインドより暑くてびっくりです。それから韓国、のどかな漁村と・・・あれ???・・・インド行っていない・・・。

私は原石の対中国販売も兼ねておりまして、今回の訪中である程度の原石受注もとれ、また少し前に持ち込んだ黒の新石種の製品が見られ（高評価だったし）、グレーの新石種も悪くはなかったので満足なのですが・・・消費増税の反動による発注減の影響でしょうか、インドでもあれだけいた中国人原石バイヤーを見かけることも少なくなり閉山する山もちらほら。いいニュースがあまり出てきていません。

多少いいニュースと言えは、何点かのインド石種で原石価格値上げの頭打ち感が出てきているところぐらいでしょうか？（需要がまだ見込めて資金力がある丁場は、談合して生産量を調整し、更に値上げを狙っているようですが）

もう少し涼しくなってインドの石材業界がもっと活発なシーズン入ってくれば、硬軟織り交ぜて交渉してみても、うまく好条件引き出せないか試してみようと思います。

情報少なくて大変申し訳ありません。来月はきちり拾ってまいりますので、何卒ご容赦を・・・。詳細は弊社担当まで。

さてそれではお待ちかねのオカザキによる息抜きコーナー。

今回は誰もが知っているモディ首相の訪日・・・ではなくわれわれ業界人にとって大事なタミルナドゥ州の時事ネタと、前回に引き続き魅惑のスポーツ。カバディについて**オカザキ**に語ってもらいます。それではバトンタッチ。

毎度お世話になっております。秋になってもインドのせい・・・いや、地黒のオカザキです。このままでは日本にとけこめないの、最近インド滞在中はもとより外に出る時は日焼け止めを塗る事にしています!!!と・・・どうでもいい話はさておき、今回は時事ネタから。

9月27日、バンガロールの特別法廷で**タミルナドゥ州首相・ジャヤラリタ氏に汚職対策法違反の罪で懲役4年の判決が下されました。**同氏は即日刑務所に収監され、州首相を失脚する見通しです。ジャヤラリタ氏は元映画女優（インド南部タミルナドゥ州、アンドラ州では映画に対して熱狂的で女優、俳優出身の政治家多数）有力地方政党の党首で、タミルナドゥで大衆的な人気を誇っていた事もあり、

判決に反発する支持者らによる抗議活動が起き、一部警官隊と衝突しています。



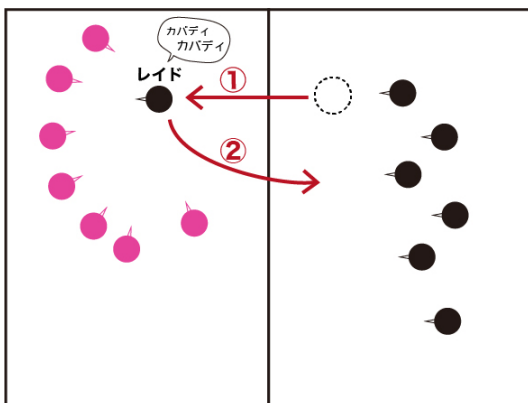
↑タミルナドゥの至るところにジャヤラリタ氏の看板が掲げられています

その影響で、弊社協力工場での生産には支障ありませんが、原石搬入が少し遅れそうとの事でした。日本でも政治家の汚職は度々取り上げられますが、そこまでの騒動にはあまりなりませんね。

続いては大人気(?)インドスポーツコーナーです！

皆さんは**カバディ**(Kabaddi)というスポーツをご存知でしょうか。時々テレビ等で取り上げられることもあります。細かなルールまでは知らないという方が多いのではないのでしょうか。カバディはインドが発祥で国技にまでなっている伝統あるチームスポーツです。(由来としては諸説ありますが、英国式軍隊トレーニングからというのが一番有力なようです。マッスル、パネ鍛えるのに最適なスポーツのようです)ルールとしては攻撃側1人が相手陣でより多くの相手チームのプレイヤーをタッチして自陣に戻るとい、インド版鬼ごっこのようなものです。最大の特徴はやはり、攻撃時に「**カバディ カバディ カバディ**・・・」と言い続けなくてはならない事です。途中で息を吸う事は許されません。息が切れたらそこでアウトです。

なんとも不思議な光景を想像されたかと思います・・・。詳しいルールを見てみましょう。
1 チーム 10~12 人で各チーム 7 人ずつがコートに入れます。



↑カバディインド代表。現在 W 杯 3 連覇中

攻撃側のチームは「レイダー」と呼ばれる攻撃者を 1 人選び、レイダーは相手チームのコートに入ります。「カバディカバディ・・・」と連呼するのは「キャント」と呼ばれ、キャントしている間に相手メンバーをタッチして自コートに戻ると、タッチした人数分の点数を獲得できます。

「アンティ」と呼ばれる守備側は点数が入るのを阻止するために、レイダーの四肢・胴体を掴まえたり（「キャッチング」と呼ぶ）して、レイダーが自陣に戻るのを防げれば 1 点が守備側に入ります。守備側のタッチされた選手及びキャッチングされた攻撃側の選手はアウトとなり、味方が得点するまでコート外で待機しなくてはなりません。守備と攻撃を順番に繰り返す、男子 20 分ハーフ、女子 15 分ハーフで点数の多い方が勝利です。シンプルですがなかなかハードなスポーツですね。

「カバディ」という言葉について、どんな意味があると思いますか？

インドの国民栄誉賞を受賞したカバディ選手曰く、「カバディ」という言葉自体に意味は無いのだそうです。意味づけをすると考えてしまい、考えると体と心はばらばらになってしまうから。声に出すことで心と身体を一つにするというものであるようです。また、実際のカバディの試合を見てみると、「カバディ」と言っていないように見えます。「カバディ」という言葉は、はっきりと大きく言う必要はなく、小さくてもひと息続きに言い続けるのが重要になります。

驚くことに**日本はカバディ競技において、強豪国のレベルにあるようです**。2010 年のアジア競技大会では、男子日本代表が銅メダルを獲得しました。また、女子日本代表も 2012 年の第 1 回カバディワールドカップにおいて銅メダルを獲得しています。

まだまだ競技人口の少ないカバディ。**今からでも W 杯は夢じゃない!?**

それではまた来月まで。SATO&OKAZAKI